

各計画に関する石狩市地域自立支援協議会からの意見

令和5年9月5日開催の石狩市地域自立支援協議計画ワーキンググループにおいて、石狩市第6期障がい福祉計画及び石狩市第2期障がい児福祉計画の改定(案)を報告した際に意見があった項目は次のとおりとなります。

意見総数 8件 内訳:第6期障がい福祉計画に関する意見 6件(No.1～No.6)
第2期障がい児福祉計画に関する意見 2件(No.7、No.8)

No.	意見の概要	回答内容
1	「障がい福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築」とあるが、具体的なイメージや方向性があれば伺いたい。	研修費用の一部補助を行う「障がい福祉人材養成事業」がこの項目に該当する。本事業を進めていけばと考えている。
2	資料1、2の⑫、新設されたという「障害者による情報の取得利用・意思疎通の推進」について、意思疎通は資料2では、聞こえない方が中心とを感じるが、国の資料では意思決定支援に力を入れるというところがある。これは石狩市としてはこの項目に絡んでくるのか。ここは聞こえの障がいなど身体障がいの人の意思疎通推進だけなのか、精神障がいの方の意思決定支援も含むのか。	ここの意思疎通推進とはコミュニケーションについてのもの。今、石狩市情報・コミュニケーション(仮称)条例検討委員会の中では、耳の聞こえない方だけでなく、知的障がいの方ですとか、各障がいにおけるコミュニケーションについて話されている。意思決定支援については関連しているが計画の部分はコミュニケーションについての記載である。
3	虐待にも絡んでくるが、自分の意思を表明してそれを出すまでの支援をしていくというのは今後になるということでしょうか。ここでは示されていないということでしょうか。	関係機関や高齢者分野でも意思決定支援はキーワードとして出てきており、多機関による会議等で学びの機会はあるが、まだ具体的なものにはなっていない。

No.	意見の概要	回答内容
4	資料2、地域生活支援拠点の整備について、着手できていないが検討の場を実施していくとのことだが、具体的にどのような拠点を考えているのか。	国からは、相談とコーディネートや緊急のお子さんの受け入れや地域移行の体験の場と体制作りなどが示されているのでそこに沿いたいとは考えているが、具体的にどうするかはまだ検討中。今後、自立支援協議会でもご意見いただきながら地域の実情に合わせて進めていきたいと考えている。
5	「暮らしの保健室」と検索すると実施している地域が全国にあるので参考になればと思います。	参考にさせていただきます。
6	入所施設の立場からだが、国の方では施設入所者数の減を目標にしている。取り組むべきとは思いますが当事業所ではできていない。さきほど減少の要因は自然減ということだった。また介護サービスへの移行なども考えられるが、今施設では頑張っていて、今の生活を維持しようということを目指して、目標に反することをやってしまっている。地域移行の目標にジレンマを感じている。他の施設もそういうところがあるのかもしれないと思う。	入所施設の立場の方のご意見も参考になる。入所施設が必要な方はいる。地域に移りたい方についてはサポートできればと思う。

No.	意見の概要	回答内容
7	<p>資料1の3成果目標の⑤の2番目「全市町村において、障がい児の地域社会への参加・包容の（インクルージョン）推進体制の構築」とありますが、厚生労働省などの資料を調べても、推進について具体的な内容があげられていない。漠然と「普通の子どもたち障がいのある子が学び生きる」といった表現しかない。具体的に市町村や事業所はどのように取り組んでいけばいいのかなかなか見えない。このあたりの市のイメージがもう少しあるとわかりやすい。</p>	<p>指針に示されていたのが、保育所等訪問支援を通して取組を進めていくという部分であった。このサービスの活用で、専門職の方が子ども園に訪問し、障がいのあるお子さんもそうでないお子さんも一緒に育っていける場として、園での過ごし方など保育士にご助言いただいたくことは一つのきっかけになると思われる。より具体的なことについては国の動向を確認してまた説明させていただく。</p> <p>・北海道は全国と違って子ども園と併用して児童発達支援事業所を使っている子どもが多い。そういう意味ではインクルージョンが進んでいると思う。ただ子ども園ではあずかれないと断られるお子さんも石狩市内には何人かいる。そういうお子さんをできるだけ定型発達のお子さんと触れ合える機会をつくるということが石狩市の課題と考えている。</p>
8	<p>児童発達支援全般について、「就学前の障がいのある子ども」と書いているが実際は診断名がなく困り感で利用される方がいる。「障がい児」となってしまうと利用したくなくなる方がいる。それよりは「障がい児や困り感のある子ども」とする方が良いと思う。</p>	<p>文言を確認して策定委員会に諮っていきたい。</p>